



2019年10月23日

各 位

会 社 名 日本ユピカ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 山根 祥弘  
 (JASDAQ・コード7891)  
 問合せ先 役職 常務取締役管理部長  
 氏名 三浦 弘之  
 電話 03-6850-0261

## 2020年3月期 第2四半期業績予想と実績との差異及び

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月7日に公表いたしました2020年3月期第2四半期(2019年4月1日~2019年9月30日)の業績予想と、本日公表の実績における差異、及び通期(2019年4月1日~2020年3月31日)業績予想の修正につきましてお知らせいたします。

## 記

1. 2020年3月期 第2四半期累計期間(2019年4月1日~2019年9月30日)における、予想数値と実績との差異

## (1) 個別

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	4,750	80	55	20.02
実績値(B)	4,581	110	76	27.76
増減額(B-A)	△169	30	21	—
増 減 率	△3.56%	37.50%	38.18%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	4,721	57	40	14.56

## (2) 連結

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	5,650	60	50	40	14.56
実績値(B)	5,271	100	78	60	22.20
増減額(B-A)	△379	40	28	20	—
増 減 率	△6.71%	66.7%	56.00%	50.00%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	5,787	60	53	31	11.50

### (3) 差異理由

個別業績におきましては、販売数量は住宅機材用途、タンク容器用途、工業機材用途等で減少となり売上高は当初の予想を下回りました。利益面では原価低減等により当初の予想を上回りました。また、中国子会社においても個別業績の状況と同様に販売数量は減少し、利益については当初の予想並みとなり、連結業績では、売上高の減少、利益の増加となりました。

## 2. 2020年3月期 通期（2019年4月1日～2020年3月31日）における、業績予想の修正

### (1) 個別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	9,650	325	225	81.90
今回修正 (B)	9,300	360	250	91.00
増減額 (B-A)	△350	35	25	—
増減率	△3.63%	10.77%	11.11%	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	9,655	257	421	153.49

### (2) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	11,950	380	365	250	91.00
今回修正 (B)	10,600	350	320	230	83.72
増減額 (B-A)	△1,350	△30	△45	△20	—
増減率	△11.30%	△7.89%	△12.33%	△8.00%	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	11,788	273	240	412	150.26

### (3) 修正の理由

通期業績予想につきましては、個別業績では下期においても上期と同様の状況が続くと見込まれ、連結業績では、中国子会社においては販売数量がさらに減少することが見込まれ、売上高、利益共に当初の予想を下回る予想としております。

以上

\* 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。